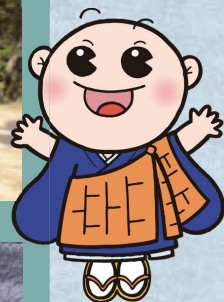


宗内寺院紹介 82

岡山教区第六部

岩間山

本山寺



①



②



③



④



⑤

- ①本堂
- ②三重塔
- ③仁王門
- ④御霊屋
(おたまや)
- ⑤常行堂

当山は今から一三〇〇年の昔、役の行者・小角が修行した跡といわれ、大宝元年（七〇二）佐伯有頼がこの山で狩りをして奇瑞を感じ、出家して頼観と号し、寺を建てて新山寺と名づけた。それから五十余年後、唐の高僧・鑑真が来て、名を本山寺と改め、大いに伽藍を興したという。平安時代も盛りをすぎたころ、戦乱のため荒廃したが、眞道と古道の両師が協力して復興に努め、天永元年（一一一〇）現在地に移転し、本堂・講堂・三重塔・多宝塔・鐘楼・鎮守社・仁王門、等々を建てた。長承元年（一一三二）稲岡ノ庄の漆間時国夫婦が、参籠して嗣子を受け給えと祈り、願いがかなって生まれた勢至丸が、後に出家して比叡山で仏教の奥義を究め、浄土宗の開祖・円光大師法然上人（源空）となったのは、有名な伝説である。観応元年（一一三〇）現・本堂が建てられた。柱で五間四面（実測・七間半）、当時流行の和様・唐様折衷様式で、県下に稀をみる古建築である。大正二二年、本堂が特別保護建造物（現・重要文化財）に指定され、昭和六・七年に解体修理が行われて面目を一新。戦後には、三重塔を始め主要な建造物が、国・県の重要文化財に指定されている。

岡山教区第六部
岩間山 本山寺

住所／〒708-1536 岡山県久米郡美咲町定宗403
電話番号／0868-62-1050